

安全委員会だより

事故発生状況【平成22年12月1日～平成23年5月31日】

安全委員会として、事故減少の取り組みとして安全パトロールや安全講習会等を通じ、就業時及び就業途上での事故防止をお願いしていますが、残念ながら傷害事故が発生しました。

● 5月26日、清掃作業中に足を滑らして外の溝にはまって転倒し、地面で頭部を打って出血した。

平成22年度全国の重篤事故の分析

※全シ協『安全就業ニュース』(速報)より抜粋

平成22年度重篤事故統計(全シ協統計より抜粋)

状況	平成22年度					平成21年度		
	計	死亡	入院	男性	女性	計	死亡	入院
就業中	29	18	11	28	1	28	15	13
就業途上	23	14	9	12	11	29	24	5
合計	52	32	20	40	12	57	39	18

平成22年度の重篤事故は、52件となり、21年度より5件減少しました。この内容は、死亡事故が7件減少し、入院が2件増加となっており、就業中での事故が、21年度より1件増加し、就業途上で6件減少しました。死亡事故では、就業中が3件増加し、就業途上が、10件減少しました。また、入院では、就業中が2件減少しましたが、就業途上4件増加しました。

1か月～6か月未満の入院及び後遺障害の事故(全シ協統計より抜粋)

状況	区分	平成22年度			平成21年度		
		計	男性	女性	計	男性	女性
就業中	植木・樹木の剪定等	65	63	2	74	71	3
	除草作業	21	17	4	30	23	7
	屋内・屋外清掃作業	32	12	20	28	10	18
	その他	57	44	13	47	34	13
	合計	175	136	39	179	138	41
就業途上	徒歩	15	9	6	6	1	5
	自転車	44	17	27	32	21	11
	バイク	16	10	6	20	8	12
	自動車	6	3	3	9	5	4
	合計	81	39	42	67	35	32
合計		256	175	81	246	173	73

1か月以上6か月未満の事故については、合計で、21年度より10件増加しました。就業中の事故は、4件減少し、就業途上は、14件増加しました。また、男性は、就業中で2件減少し、就業途上で4件増加しました。女性は、就業中で2件減少しましたが、就業途上では10件増加しました。

特に、女性の就業途上の事故を見てみますと、自転車での事故が16件も増加しています。自転車の運転には十分に注意して下さい。

安全面の「報告(報)・連絡(連)・相談(相)」について

※全シ協『安全就業ニュース』(速報)より抜粋

1 報・連・相の効果

- ① 不安全な状態・行動などによるヒヤリ・ハット事故や体験を報告・伝達することにより、安全就業に生かすことができます。
- ② 作業前、安全を確保するために必要な注意事項や作業の段取りを伝達し、無駄なく効率的に作業を進めることができます。
- ③ 会員同志で意見の調整をすることにより、チームワークが向上し安全が図られます。

2 報・連・相のポイント

(1) 報告

- ① 「報告は早く」報告の遅れは、判断を誤らせることがあります。
- ② 「結論を先に」要点を分かりやすく説明しましょう。
- ③ 「ミスや言いにくいことを省略しない」速やかに報告し、指示を受けましょう。

(2) 連絡

- ① 「要点を確認」連絡漏れのないよう前もってメモを作成し連絡しましょう。
- ② 「あいまいな略語や相手がしらない専門用語使わない」復唱するとよいでしょう。
- ③ 「合図で連絡」作業前に合図の意味を確認しておきましょう。
- ④ トラブル発生時は「止める」「叫ぶ」「待つ」を原則としましょう。
- ⑤ 連絡は5W2Hで報告しましょう。(いつどこで誰が何をなぜどのようにどのくらい)

(3) 相談

- ① 相談内容を整理しておきましょう。
- ② 相談相手の都合も確認しましょう。
- ③ 相談の結果はきちんと報告しましょう。
- ④ 相談・話し合いの中から良い解決策が見い出せます。